
だけどやっぱり死亡フラグ

月織黎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だけどやっぱり死亡フラグ

【Nコード】

N0590Q

【作者名】

月織黎

【あらすじ】

変化球の死亡フラグネタです。フーかタイトルでネタバレ……。まあ、ある『小道具』を使って兄貴と弟分のあれやこれやを書いた作品です。半分ガチで半分ネタです。

(前書き)

授業の課題で出された『小道具』を使って書いた作品です。タイトルからしてネタバレで内容も陳腐ですが、意外にも得票数は多かったです。

『俺、この仕事が終わったら、離婚するんだ』

どんな時でも肌身離さず、左手の薬指につけていた結婚指輪がなかった。

『は、理由なんてねえよ。いい加減、一人の女に縛られてんのに飽きただけさ』

何故その時気付かなかったのか。兄貴の本心を。誰よりも近くにいたはずなのに……！

「兄貴、兄貴い！」

黒いワイシャツの腹部を真っ赤に染めて、兄貴は力なく壁に背を預けている。

「……ばかやろう。来るなって言ったじゃねえか」

弱々しく口を開く兄貴。その行為だけで腹から血がどろっとこぼれた。

「い、今すぐ救急車を……！ 兄貴はもう喋らないで下さい！」

「ふざける。追っ手はすぐにやって来る。足手まといはさっさと消えやがれ」

突き放すように言う。でもおれは分かっていた。兄貴は、口は悪いけど、本当は心の優しい人なんだって。

離婚の話もそうだ。おれは兄貴があの人のことをどれだけ好きか知っている。最愛の人を巻き込みたくなかっただけに違いない。

「……ったく。しょうがねえ弟分だなお前」

兄貴はそうぼやき、震える腕をポケットに突っ込んで、ある物を取り出した。

「悪いが……お前からアイツに渡してやってくれ……。三行半代わりだ」
みくだりはん

それは指輪だった。いつも大切にしていた、触ることすら許して

くれなかった、あの。

「つつ、兄貴っ……………」

必死に歯を食い縛る。おれは命じられたのだ。最期くらい弟分として責務を全うせねば。

「今まで、おつかれさまでしたっ……………！」

指輪を受け取り深く頭を下げて、その場を後にする。その背後から、愚痴るように。

「……………たくよお。どうしてこう、いい女にばかり縁がねえのかねえ
」

(後書き)

言うまでもなく、ここでの小道具は『結婚指輪』です。ありがちなネタですが、前書きにもあった通り、思いの外得票数が多かったです。つーか兄貴、かっこいいよね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0590q/>

だけどやっぱり死亡フラグ

2011年1月16日10時00分発行